

月刊

moritoni

森と未来

02
2022.08

Do you know

FSC

?



「FSC」の文字と

デフォルメされた木のイラストで構成される
シンプルなロゴマーク。

ティッシュペーパーやお菓子の箱など
身近な製品にも付いているため、
見覚えがある人も多いだろう。

しかし、意味やマーク付きの製品を買うことが
何につながるかはご存じだろうか？

このマークは、適切に管理された森林の資源や
適格だと認められたりサイクル原材料でつくられた製品であることの証。
購入するだけで森を守ることに繋がる。

FSCの仕組みや、日本で最も広いFSCの森林がある
山梨県内での取り組みを紹介する。

日用品や嗜好品などさま
ざまな商品が並ぶクスリのサ
ンロード響ヶ丘店(甲斐市竜
地)の商品棚。トイレトペー
パーやチョコレートの包装を
見ると、多くの商品にFSC
のマークが付いている。買い物
に訪れていた50代の主婦は
マークの付いたティッシュを購
入。FSCについて尋ねると、
「マークのことは知らず、商品
選びで意識したこともなかつ

た」と返ってきた。

「ネピア」ブランドのティッシュなどを手掛ける王子ネピアは2011年から、FSCマークを主要製品に採用。現在は、全出荷量の約8割をFSCマークの付いた製品が占める。同社マーケティング本部の担当者は「他製品との差別化を図ることができ、森を大切にすることができ、森を伝えることができる。今後も力を入れていきたい」と話す。

FSCはForest Stewardship Council®(森林管理協議会)の略で、責任ある森林管理を普及させるために設立された非営利団体。一般に「FSC認証」と呼ばれる国際的な森林認証制度を運営している。

FSCマークはFSC認証に合格した証で、「適切に管

理された森林から得られた木材、及びその木材やFSC

が適格だと認められるサイクル原材料でつくられた製品であることのお墨付き。FSC認証は、①「FM(森林管理)認証」②「COC(加工・流通

FSCが定める10の原則

- ① 法律や国際的な取り決めを守っている
- ② 労働者の権利や安全が守られている
- ③ 先住民族の権利を尊重している
- ④ 地域社会の権利を守り、地域社会と良好な関係を保っている
- ⑤ 森林のもたらす多様な恵みを大切に活かして使っている
- ⑥ 環境を守り、悪影響を抑えている
- ⑦ 森林管理を適切に計画している
- ⑧ 森の状態や管理状況を定期的にチェックしている
- ⑨ 保護すべき価値のある森などを守っている
- ⑩ 管理活動を適切に実施している

過程「認証」の二つから成り立っている。

FM認証は森林そのものが対象。FSCが定める「10の原則」に基づいて「適切に管理された森林か」が審査される。10の原則は、環境が守

られているか、労働者の権利が保障されているか、地域社会と良好な関係が保たれているか、先住民族の権利を尊重しているか、多岐にわたる、国連が提唱するSDGsの理念にも通じる。



お菓子が並ぶ商品棚。包装を見ると多くの商品にFSCマークが付いていた
＝いずれも甲斐市竜地のクスリのサンロード響ヶ丘店



店舗に陳列されている山梨県産材を使ったFSC認証の紙ストロー

COC認証は、加工や流通

などに関わる事業者が対象。FSCが適格と認めない原材料が混入しない、適切な管理体制があるかなどが審査される。FM認証を受けた森林からCOC認証取得者が市場に搬出することで初めて、木材にFSCマークを付けることができる。

製品にFSCマークを付けるハードルはさらに高く、製品化までの工程に関わるすべての事業者がCOC認証を取得しなければならぬ。供給側が厳しい基準をクリアすることにより、消費者はFSCマークの製品を選ばだけで森林の保全や産業などを支えられる、という仕組みだ。

山梨県有林は2003年、全国の公有林で初めてFM認証を取得。認証面積14万3千鈔の「日本一大きなFSCの森」(山梨県県有林課)で、日本全国のFM認証林の

世界に通じる「森を守る証」



真剣な表情でFSC材の加工に取り組むジョブスペースかけはしの利用者。米山満広さん(写真左奥)は「自分の仕事が森や社会のためになると思うとモチベーションが上がる」と話す
＝南アルプス市野牛島

約3分の1を占めている。認証の有効期限は5年間で、維持には5年に1回の更新審査、毎年1回の監査への合格が必要。「県有林ではFSCの原則を常に考えて持続可能な森林経営の推進に取り組み、認証を維持している(同課担当者)という。

10年にCO2認証を取得した「やまなし森の紙推進協議会」は、県産材を使ったコ

ピー用紙「やまなし森の紙」をはじめ、FSC製品を積極的に開発している。16年からは就労継続支援B型事業所「ジョブスペースかけはし」を運営するNPO法人ジョブブクリエーターと連携し、障害者と共にFSC製品を作る取り組みも始めた。

同協議会の藤川明子事務局長は「『やまなし森の紙』を作り始めた当初は同業者



ティッシュペーパーに付いているFSCマークの一例

から『売れないだろう』などの声もあった」と振り返る。しかし、地道な営業活動で取り組みへの理解が広がり徐々に販路が拡大。現在は県内外の企業、地方公共団体などのほか、国際的な服飾ブランドからも注文が入るようになった。

「企業、団体の社会貢献の意識は確実に高まってきている」と藤川事務局長。クスリのサンロードでも環境への配慮の観点から昨年11月、県産FSC材でつくられた紙ストローの取り扱いを始めた。9月からは、スプーンやフォークなど環境に配慮した素材を使った製品のラインアップをさらに拡充する。



チップに加工されるFSC材。「やまなし森の紙」の原料などに利用される
＝甲州市内

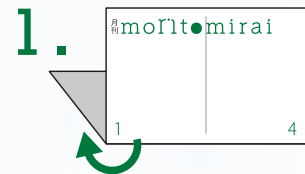


一方、課題は地元山梨の消費者と、企業・団体の認知。藤川事務局長は「森の紙に興味を示してくれるのは県外の企業、団体の方が多い。都内で多くの人が興味を示してくれたFSCの製品が、山梨の消費者にはほとんど見向きもされないこともある。日本最大のFSCの森があるにも関わらず、その価値が伝わっていないことは寂しい」と胸中を明かす。

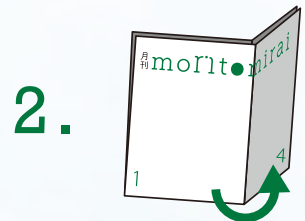
山梨県は、パンフレットやイベントでのFSC製品配布などを通してPRを続けている。県有林課の湯浅和彦課長補佐は「FSC製品を買うことは森のためになるだけでなく、森を取り巻く産業を守ることもつながる。FSCの価値を広める努力をしていきたい」と話している。

moritairai

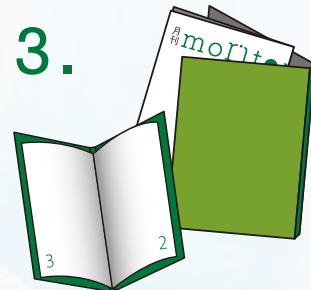
この紙面の読み方



この面を表のまま
二つ折りにします。



さらに上半分の面が
表になるように四つ折りにします。



四つ折りにすることで
冊子状の読み物になります。
ファイルなどに挟んで
保存してください。



企画制作
山梨日日新聞社広告局

Sannichi YBS Group

月刊moritairai

次号は9月30日(金)予定



←本紙面は山梨の森林サイト
「moritomirai」でも
ご覧いただけます

illustration : オエムシ